

[様式 2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書							
技術分野	④(「技術提案書の内容」)の該当番号を記載願います)						
御提案件名	水中不分離型グラウト材 デンカプレタスコン TYPE-AP						
御提案者	電気化学工業株式会社						
1. 技術等の特徴 (特徴、仕様、性能、保有者など)							
デンカプレタスコン TYPE-AP は水中不分離性を有するグラウト材で、河川橋脚の耐震工事や棧橋等の港湾工事など、水中で無収縮グラウト材を施工する際に適用可能な材料です。							
仕様/性能							
一般物性	環境温度	水量 (kg/袋)	フロー(mm) [*1]	ブリーディング率(%)	膨張収縮率(%)	凝結時間 (時間:分)	
						始発	終結
	5℃	6.2	280	0.00	0.38	14:00	25:30
	20℃	5.8	320	0.00	0.43	6:00	8:30
	30℃	5.8	310	0.00	0.45	3:45	5:00
圧縮強度	環境温度	気中採取(N/mm ²)			水中採取(N/mm ²) [*2]		
		3日	7日	28日	3日	7日	28日
	5℃	11.3	32.0	50.0	10.5 (93%)	30.4 (95%)	47.9 (96%)
	20℃	38.8	52.0	65.1	34.6 (89%)	44.2 (85%)	58.4 (90%)
	30℃	46.6	56.0	72.9	40.2 (86%)	49.3 (88%)	66.3 (91%)
*1: JISR5201 のコーンを使用した静置フロー値 *2: 型枠を水中に存置し、型枠上面 10cm から漏斗にてモルタルを流し込み供試体を成型 ()内の%表示は、気中採取に対する強度比							
							
プレタスコン TYPE-AP の水中不分離性の例							
保有者：電気化学工業株式会社							
2. 備考 (以下の点など、可能な範囲でご記入頂けますようお願いいたします)							
<ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期も含む) 2007年から上市 東京モノレール耐震補強工事 横浜港氷川丸船底補修工事 他 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 連続練混ぜ方式の確立 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 特許第 5121484 号 							